

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

福井県

学校の概要（平成 15 年 4 月現在）

| | | | | | | | | | |
|-----|----------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| 学校名 | 坂井町大関小学校 | | | | | | | | 教員数 |
| 学 年 | 1 年 | 2 年 | 3 年 | 4 年 | 5 年 | 6 年 | 特殊学級 | 計 | |
| 学級数 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | | 9 | |
| 児童数 | 39 | 41 | 36 | 44 | 39 | 42 | | 241 | 14 |

研究の概要

1. 研究主題

楽しみながら 学びあい高めあう子をめざして

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年 国語 すべての学習活動の基盤となる教科であるため
 全学年 算数 理解度・習熟度に差が生じやすい教科であるため

(2) 年次計画

平成
14
年
度

テーマ 「確かな学力向上のための指導の在り方」
 国語 伝え合う活動に生きる 豊かな表現ができる子の育成
 算数 算数的活動を通して 自ら問題解決できる子の育成

研究の見通し（仮説）

- ・児童の学ぶ関心・意欲をどう高めていくか
- ・学力向上に結びつく指導をどう進めていくか
- ・補充的・発展的な学習をどう組み入れていくか

研究内容・方法

- ・全校児童対象の学習に関するアンケート実施および分析
- ・国語・算数についての学力の実態調査および分析（2年以上）
- ・T T（全学年）および教科担任制（3・5年）の導入
- ・学習状況の点検・評価（評価規準表・評価カードの作成）
- ・補充的発展的な時間としての「GO！Sタイム」の実施
- ・ミニ音読会・話し方教室・算数フェスティバル等の実施

平成
15
年
度

テーマ 「個に応じた学習指導の工夫改善と充実」
 国語 伝え合う活動に生きる 豊かな表現ができる子の育成
 算数 算数的活動を通して 自ら問題解決できる子の育成

研究の見通し

- ・補充的発展的な学習をどう進めていくか
- ・少人数指導をどう工夫していくか
- ・T T授業をどう工夫していくか

- ・指導に生きる評価活動をどう進めていくか
- ・スクールサポーターをどう活用していくか

研究内容・方法

- ・全児童を全職員で指導する学習支援の体制づくり
- ・少人数指導の体制づくり（コース別学習の導入）
- ・分担TT・習熟度別TT・課題別TT等、学習効果が上がるようなTT授業の工夫改善の実施
- ・児童の力を伸ばすための評価、よりよい授業づくりに向けた評価の工夫
- ・お話し会・話し方教室でのスクールサポーターの活用

平成
16
年度

テーマ 「自ら学び自ら考え表現する児童を育成するための
授業の工夫改善」

国語 伝え合う活動に生きる 豊かな表現ができる子の育成
算数 算数的活動を通して 自ら問題解決できる子の育成

研究の見通し

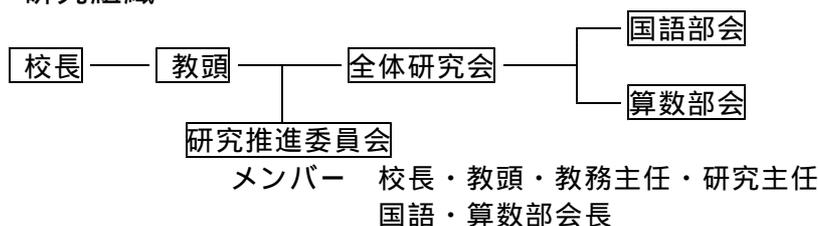
- ・教科での学びを課題解決や探究活動にどうつなげていくか
- ・内発的動機付けのための支援をどのようにしていくか
- ・評価活動をどう充実・発展させていくか

研究内容・方法

- ・児童にとって魅力的で意欲をそそる授業展開の工夫
- ・「学ぶ楽しさ・喜び」を体得させるための場の設定
- ・自己実現につながるような学習・体験発表の場の工夫
- ・計画的で客観性のある授業評価システムの構築

(3) 研究体制

< 研究組織 >



昨年度は 低学年部会・高学年部会も設定してあったが、効率化のため廃止し、教科部会の 国語部会・算数部会だけにした。

平成15年度の研究成果および今後の課題

1. 研究の成果

2年次は、「個に応じた学習指導の工夫改善と充実」を下位テーマに、更に研究を進めてきた。成果としてあげられることは

- ・仲間内だけで堂々巡りになってしまうことの多かった校内研修だが、今年度は、授業研究にも外部講師（国語顧問・陶山治男先生 算数顧問・青山庸先生）を招くこ

とで、質の高い研究協議をすることができた。

- ・学習のモチベーションを高めるための手だてを工夫した結果、児童の学習に対する意欲が大きく変わってきた。

(例) 百マス計算のタイムを日常的に測り、目に見える形で個々の児童にフィードバックすることで、「よし、明日は今日よりいいタイムを出すぞ」という意欲につなげることができた。

- ・個々の目標達成度をチェックする「個人カルテ」や、個々の把握だけでなく、集団としての单元ごとの達成度を見る「評価シート」を開発・活用したことで、評価と指導の一体化を図ることができた。

各学年の数値的なデータは以下のとおりである。(漢字の設定通過率は同じ)

(1年)

| | 漢字テスト | 視写 | 百マス計算 |
|-----|-------|-----|-------|
| 1学期 | 点 | 人 | 分 秒 |
| 2学期 | 90点 | 34人 | 分 秒 |

視写は 60字 10分間での達成者

百マス計算はまだ始めたばかりでデータなし

(2年)

| | 漢字テスト | 視写 | 百マス計算 |
|-----|-------|-----|-------|
| 1学期 | 88点 | 29人 | 1分36秒 |
| 2学期 | 91点 | 36人 | 1分18秒 |

視写は120字 10分間での達成者

百マス計算は 1桁-1桁

(3年)

| | 漢字テスト | 視写 | 81マス計算 |
|-----|-------|-----|--------|
| 1学期 | 82点 | 26人 | 3分48秒 |
| 2学期 | 88点 | 29人 | 3分32秒 |

視写は180字 10分間での達成者

81マス計算は 九九

(4年)

| | 漢字テスト | 視写 | 50マス計算 |
|-----|-------|-----|--------|
| 1学期 | 82点 | 35人 | 4分38秒 |
| 2学期 | 91点 | 41人 | 3分49秒 |

視写は240字 10分間での達成者

50マス計算は あまりのあるわり算

(5年)

| | 漢字テスト | 視写 | 百マス計算 |
|-----|-------|-----|-------|
| 1学期 | 70点 | 19人 | 3分29秒 |
| 2学期 | 88点 | 24人 | 2分37秒 |

視写は300字 10分間での達成者

百マス計算は 1桁のかけ算

(6年)

| | 漢字テスト | 視写 | 百マス計算 |
|-----|-------|-----|-------|
| 1学期 | 91点 | 22人 | 1分36秒 |
| 2学期 | 96点 | 32人 | 1分18秒 |

視写は360字 10分間での達成者

百マス計算は 2桁-1桁

このように国語では漢字や視写など繰り返しの指導が実を結び、結果に反映してきている。また、朝学習やGO!Sタイムでの百マス計算は、目標タイムを設定することで児童のやる気を起こさせている。

2. 今後の課題

3年次のテーマは、「自ら学び自ら表現する児童を育成するための、授業の工夫改善」である。そのための研究内容・方法として

